

Phenotypes of childhood wheeze in Japanese children: A group-based trajectory analysis.

出典	Pediatr Allergy Immunol2018;29(6):606-611 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/29698561/)
著者	Yang L et al.
調査地域	東京都
調査時期	リクルート対象：2003年から2005年に受診した妊婦
調査対象	成育医療センターで出生した9歳児
依頼数	1550名(Enrollment)
有効回答数 または回収率	72.00%
診断方法	ISSAC調査票に準拠
有症率	喘鳴 1歳 20.3%、2歳 24.2%、3歳 15.7%、4歳 16.2%、5歳 16.9%、6歳 14.0%、7歳 12.6%、8歳 10.4%、9歳 9.3% 19.5%、0から6歳での喘息既往 16%、9歳時の喘息既往 18.3%、9歳時の喘息 8.6%
調査概要	国立病院機構成育医療センターで行われた出生コホート研究の論文。9歳時までの喘鳴、喘息の発症を評価し喘鳴の発症は5つのフェノタイプに分けられた。